

2023年3月23日

各 位

会 社 名 株式会社ツカダ・グローバルホールディング
 代表者名 代表取締役社長 塚田 正之
 (コード：2418 東証プライム)
 問合せ先 人事総務部長 関 将威
 (TEL: 03-5464-0081)
 (URL: <https://www.tsukada-global.holdings>)

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月10日に、プライム市場への上場維持基準の適合に向けた計画を提出し、その内容について開示しております。これに従い、2022年12月時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社の2022年12月時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況はその推移を含め、以下のとおりとなっており、流通株式時価総額及び流通株式比率については充たしておりません。当社は、下表のとおり、2024年12月末までに上場維持基準を充たすために、引き続き各種取組を進めてまいります。

		流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)	1日平均 売買代金 (億円)
当社の適合 状況及び その推移	2021年6月末時点	152,452 単位	56 億円	31.1%	0.5 億円
	2022年12月末時点	150,791 単位	56 億円	30.7%	0.4 億円
上場維持基準		20,000 単位	100 億円	35.0%	0.2 億円
当初の計画に記載した計画期間		—	2024年12月末	2024年12月末	—

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の実施状況及び評価（2021年12月～2022年12月）

（1）流通株式時価総額について

流通株式時価総額の基準不適合は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたことによる業績不振が大きな要因と捉えており、引き続き業績の回復に取り組んでまいりました。今期は、当該感染症拡大の影響を受けて以降、初めて営業利益を計上することができており、業績の回復は順調に進んでいるものと評価しております。併せて、株主の皆様への還元についても検討を進めており、2022年期末はすでに開示したとおり、5円の配当を予想しております。

（2）流通株式比率について

流通株式比率につきましては、現在流通性がないとみなされている株式が市場へ流通することが重要だとの認識の下、主要株主との対話を重ねており、取組の必要性について理解を得ているところであります。

3. 上場維持基準に適合していない項目ごとのこれまでの状況を踏まえた今後の課題と取組内容

（1）流通株式時価総額について

流通株式時価総額の面では、前述のとおり一定の業績の回復が果たされたとはいえ、2019年以前の業績を視野に入れ、さらなる回復と企業価値の向上が依然として課題であると考えております。この達成に向けて、前回の計画書や決算説明会資料にも記載したとおり、「スタジオフォトパーク」等の多様なウェディングスタイルを開発し、時代のニーズにあった商品を展開するなど、各事業の推進に取り組んでまいります。また、株主の皆様への還元につきましては、今期は中間配当5円と期末配当5円、あわせて10円の配当を予想しております。

（2）流通株式比率について

流通株式比率の向上には、上記のとおり、現在流通性がないとみなされている株式の流通が必要です。そのためその具体的な時期や手法を含めて、主要株主と調整していくとともに、自己株式の有効活用についても検討してまいります。

以上